

奥武蔵 ハネバミ入 沢登り山行報告

【日 時】8月25日(日) 奥武蔵 ハネバミ入

【天 候】曇り

【行 程】千葉⇒(電車)飯能⇒(バス)名郷 9:15→10:00 白岩渓流園キャンプ場 10:20
→ (ハネバミ入遡行) 蕨山 13:15→15:10 名郷⇒(バス)飯能⇒(電車)千葉

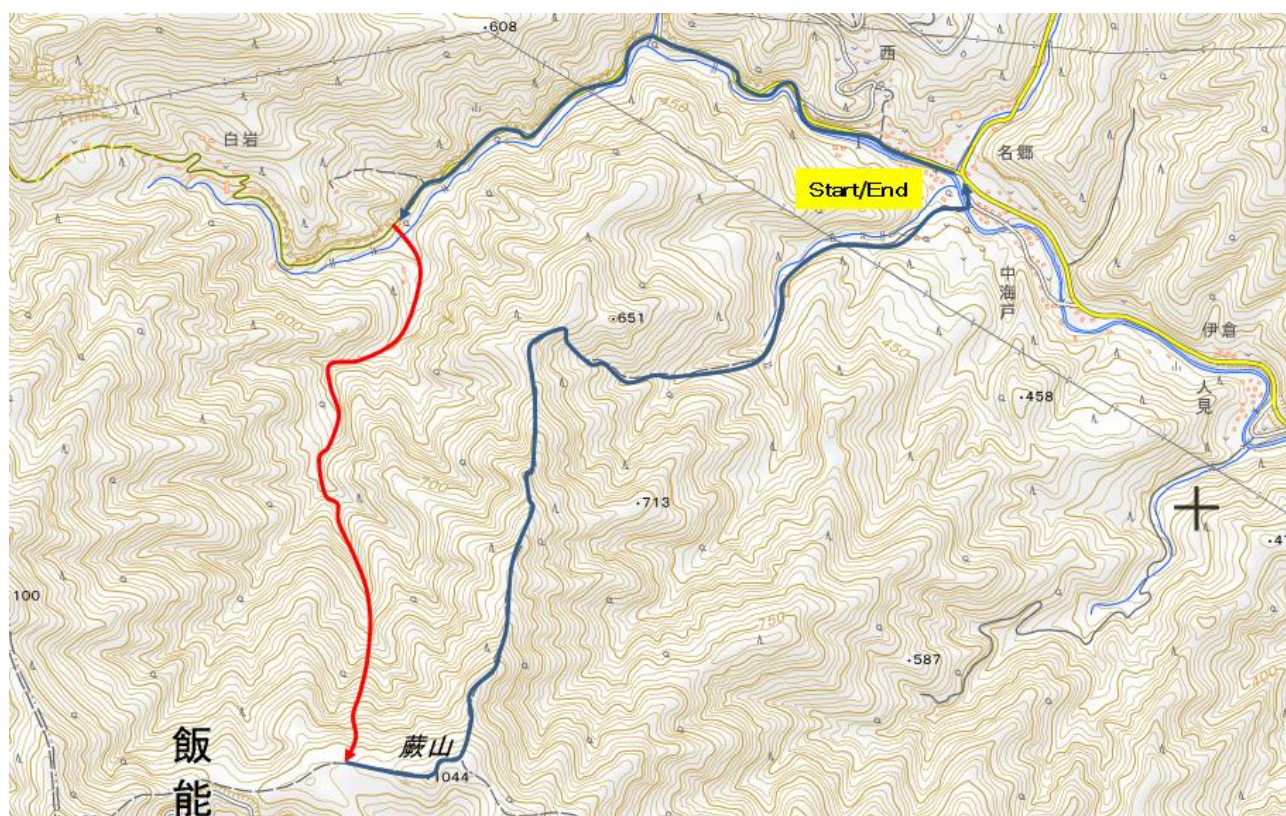
【参加者】CL 柘植(記録)、石井

【内 容】

ハネバミ入とは奥武蔵の蕨山から北に向かって落ちる長い尾根の西側の沢である。

奥武蔵では沢のことを「入」と呼んでいるが、今回のハネバミとはどういう意味だろう？

よく分からないが、まだ行ってない沢で日帰りで楽しめそうな奥武蔵の沢を検索していたら出てきたので行ってみることにした。



朝4時半ごろ起きたらえらい雨でどうしようかと迷ったが、パソコンで雨雲の動きを見るとまもなく止みそうなので、石井さんにもその旨を伝えて予定通り出発する。

名郷に着いて白岩入の渓流沿いの車道を歩くが、このあたりも雨は降っていたのか結構な水量。朝からキャンパーでにぎわう白岩渓流園のキャンプ場で身支度をしてハネバミ入に入る。ついさっきまで親子連れでにぎわっていたのがウソのように深山幽谷の気配が漂う。たぶん深い森に囲まれており、小滝ではあるがゴルジュっぽいところのせいだろうか。ハネバミ入もまだ水量はかなり多く、出てくる滝の直登は厳しいが、ほとんどが左右どちらか容易に巻けるのであまり圧迫感はない。またかなり上部まで沢沿いに仕事道が伸びており、途中かなり使わせてもらった。



キャンプ場のすぐ上の景色



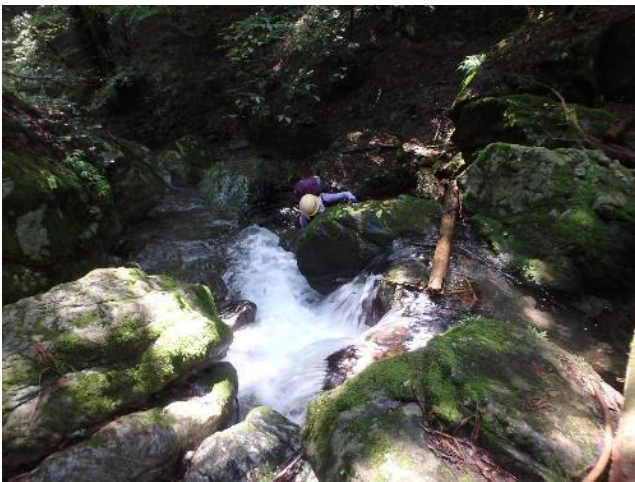
さっきまでの賑わいがウソのよう



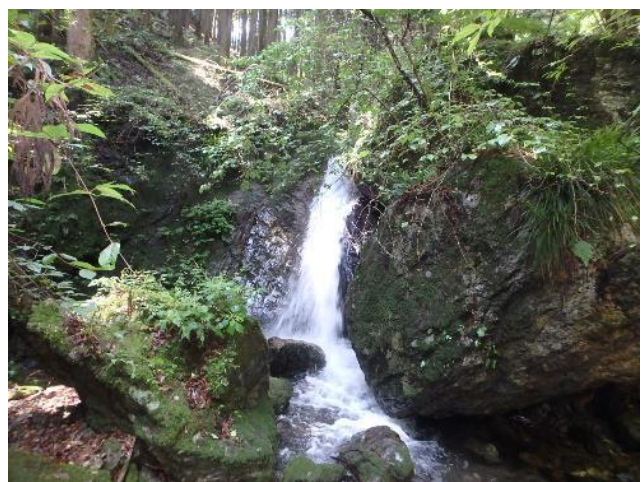
水量は結構多い印象



このような小滝をどんどん超えていく



頑張って登る



この滝は無理で左岸(右)を巻く

2時間ほど歩くと沢も源流の気配を漂わせはじめ、いくつもの細流に分かれて思い思いに左右の稜線に伸びている。我々はなるべく蕨山の山頂に近いところに出たいので、適当なところで枝尾根にとりつく。たぶんだの枝尾根もそうなのだろうが、やぶがほとんどないので傾斜はえらく急だがどんどん高度を稼げる。50分くらい頑張ると待望の稜線に到着、蕨山の山頂は左折してすぐだった。ここが最高点だが展望が悪いので、昭文社地図によると山頂標識はさわらびの湯方面に少し行った展望のよいところに設置されているらしい。我々は名郷に戻るのに、その展望のよい山頂は通らずに下山した。



中流部のナメ滝



人工的な石積みもある



上部に出てくる7m滝



枝尾根を上り詰めて稜線へ

ハネバミ入は数メートルレベルの滝がいくつかあり、水量が少なければ水線通しの遡行も可能かと思われる。また巻は容易なので、初心者を交えたWW（Water Walking）としても適しているかもしれません。

記録：柘植 秀樹